第 17 期 2021 年度（2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日）事業計画（案）

第 17 期（2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日）の事業方針及び事業計画は、以下のとおりである。

（1） 環境教育・普及啓発事業

日本においては、講演活動や子どもたちへの出張授業等を通じて、ガラパゴスの生態系やそれを守る社会の仕組みについて伝え、それらに関心を持ってもらうと同時に、日本の環境保全や持続可能な社会に向けた取り組みに対して情報を提供したり、啓発を促進したりする。また日本とガラパゴスを繋げる様々な活動により、団体間や個人間の関係性を深め、ガラパゴスにおける保全事業への支援に繋げる。また自然管理や観光管理について、ガラパゴスの事例を紹介することで、日本における世界自然遺産地域の管理の参考となる情報を提供する。

＊ ガラパゴスと小笠原の人的交流、情報交換を行う。※（7）の CDF と東京都の連携協定に基づく事業とも連動。

＊ 「ガラパゴス写真コンテスト 2021」開催、および「ガラパゴスカレンダー2022」制作、発行。ファンドレイジング／普及や環境教育ツールとしても活用する。

＊ 原産地認証付きガラパゴスコーヒーに関して、スカレシアの森林再生プロジェクト PR のため、イベントを開催したり、コーヒー豆を扱ってくれるリテイラー（カフェなどの小売業者）を発掘したりする。

＊ 時期を見て、「体験学習ツアー」を企画する。

＊ その他、教育機関等での講演、講師の派遣、出版物への原稿執筆や翻訳、監修など。

(2)情報収集提供事業

ガラパゴスに関するあらゆる情報にアンテナを張り、情報を収集すると共に、正しい情報を分かりやすく、手軽に閲覧できる媒体で提供する。

＊ JAGA ホームページのリニューアルを行い、ガラパゴスの情報を積極的に発信する。

＊ メルマガ、ホームページ・SNS を活用した会員や一般向けの情報発信に力を入れる。

＊ 会報発行を継続する。(年 2 号)

＊ 教育・科学機関、科学番組への協力・監修、マスコミ対応、情報・写真提供など、随時。

(3)環境問題全般情報収集提供事業

近年関心の高まる海洋廃プラ、温暖化、リサイクル、SDGs などについて、情報収集・提供する。

(4)ガラパゴスの環境保全活動の支援

前年度に引き続き、海鳥調査海洋保全事業、スカレシアの森林再生事業、CDF 図書館資料デジタル化事業を支援する他、CDF の活動全般や、島民団体や教育団体の草の根活動などへの支援を行う。特にスカレシアの減衰状況は深刻であり、かつ他からの支援が少ないことから、重点的に行う。

また現地の状況やニーズについて随時現地と連絡を取り、必要なところに必要な支援を行う。

(5)国際協力事業

ガラパゴスのゴミ問題の解決に向け、JICA や外務省との連絡・連携を強める。

(6)調査研究支援事業

保全研究において、研究者や関係者同士を継続して繋ぎ、情報交換できる仕組みを作る。

(7)現地諸機関の運営支援事業

東京都からの委託事業として、ガラパゴスと小笠原を繋ぎ、保全を支援する。

(8)その他、本会の目的を達成する上で必要な事業

・企業や公的機関との関係を強化し、支援の働きかけを行う。

・コロナにより変化したガラパゴスの社会や向かう先について、情報収集を行う。

・NPO を対象にした企業のサービスを活用する。